



データベースの概要

医療用医薬品における「バイオ後続品」に関するデータベースです。

バイオ後続品に該当する医薬品と、その先行品を商品名毎に判別することが可能です。

在宅自己注射データベースと組み合わせることで、診療報酬における在宅自己注射指導管理料のうち、「バイオ後続品導入初期加算」の対象となる候補薬剤の判別にご利用いただけます。

※本データベースは参考情報であり、保険審査の適否を保証するものではありません。

データベースの特徴

バイオ後続品に該当する医薬品とその先行品を、同一グループとして管理しています。

個別医薬品コードが異なる同一成分薬に対応

バイオ後続品とその先行品を同じグループとして管理しており、個別医薬品コードでは同一グループの判別ができない問題を解決します。

後続品と先行品はフラグにて判別することが可能です。

例

バイオ後続品のデータ（概略）

個別医薬品コード	商品名	成分名	後続区分	
2399402 F1026	レミケード点滴静注用100	インフリキシマブ（遺伝子組換え）	先行品	同一グループ
2399403 F1039	インフリキシマブBS点滴静注用100mg「NK」	インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続1]	後続品	
2399404 F1025	インフリキシマブBS点滴静注用100mg「あゆみ」	インフリキシマブ（遺伝子組換え） [インフリキシマブ後続2]	後続品	
4291406 D3021	ハーセプチン注射用60	トラスツズマブ（遺伝子組換え）	先行品	同一グループ
4291422 D1033	トラスツズマブBS点滴静注用60mg「NK」	トラスツズマブ（遺伝子組換え） [トラスツズマブ後続1]	後続品	

オースライズドジェネリック（AG）の判別に対応

後続品と先行品の他、AGについてもフラグにて判別することが可能です。

例

バイオ後続品のデータ（概略）

商品名	成分名	後続区分	AG区分	
ネスブ注射液10μgブラシリンジ	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）	先行品	×	同一グループ
ダルベポエチン アルファ注10μg シリンジ「KKF」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え）	後続品	○	
ダルベポエチン アルファBS注10μg シリンジ「JCR」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え） [ダルベポエチンアルファ後続1]	後続品	×	
ダルベポエチン アルファBS注10μg シリンジ「三和」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え） [ダルベポエチンアルファ後続2]	後続品	×	
ダルベポエチン アルファBS注射液10μg シリンジ「MYL」	ダルベポエチンアルファ（遺伝子組換え） [ダルベポエチンアルファ後続3]	後続品	×	

※○：該当、×：非該当

製剤単位による成分同一含有量に対応

バイオ後続品とその先行品の中から、成分含有量が同一の薬剤に絞り込んだ検索が可能です。

例

バイオ後続品のデータ（概略）

商品名	規格	一般的名称	
グラン注射液 75	75 μ g 0.3mL 1管	フィルグラスチム（遺伝子組換え）	同一成分含有量 グループ
グランシリンジ 75	75 μ g 0.3mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え）	
フィルグラスチムB S注 75 μ g シリンジ「F」	75 μ g 0.3mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え） [フィルグラスチム後続 1]	
グラン注射液 150	150 μ g 0.6mL 1管	フィルグラスチム（遺伝子組換え）	同一成分含有量 グループ
フィルグラスチムB S注 150 μ g シリンジ「F」	150 μ g 0.6mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え） [フィルグラスチム後続 1]	
フィルグラスチムB S注 150 μ g シリンジ「サンド」	150 μ g 0.5mL 1筒	フィルグラスチム（遺伝子組換え） [フィルグラスチム後続 3]	

データベースの機能

バイオ後続品の判別

バイオ後続品を商品毎に判別しており、同一の成分での検索や含有量ごとの検索が可能です。

在宅自己注射データベースと組み合わせることで、在宅自己注射指導管理料のうち、「バイオ後続品導入初期加算」の対象となる候補薬剤の判別にご利用いただけます。

また、先行品からバイオ後続品の検索も可能です。

<参考>

C101 在宅自己注射指導管理料（抜粋）

- 患者に対し、バイオ後続品に係る説明を行い、バイオ後続品を処方した場合には、バイオ後続品導入初期加算として、当該バイオ後続品の初回の処方日の属する月から起算して3月を限度として、150点を所定点数に加算する。

（2020年8月現在）